

生物多様性の主流化に向けた COP10以降の実施レビュー

Post-Cop10 Implementation Reviews toward Mainstreaming of Biodiversity

環境省 自然環境局 自然環境計画課
生物多様性施策推進室長
牛場 雅己

USHIBA, Masaki

Director, Office for Mainstreaming Biodiversity
Nature Conservation Bureau
Ministry of the Environment Japan

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

いのちの共生を、未来へ
Life in harmony, into the future

生物多様性基本法とビジネス（平成20年6月施行）

Basic Act on Biodiversity and Business (Enacted in June 2008)

- ・生物多様性に対する国際的な関心の高まり Rising Int'l Concern over Biodiversity
- ・生物多様性条約COP10に向けイニシアティブを発揮する必要性

The Need to Demonstrate the Initiative toward COP10

→ 生物多様性施策の一層の推進のための基本的な法制度の整備

Improvement of Basic Legal Systems to Promote Further Biodiversity Measures

第6条 事業者の責務

Article 6 Responsibility of Businesses

事業活動が生物の多様性に及ぼす影響を把握すること

生物の多様性に配慮した事業活動を行うこと

などにより、生物多様性に及ぼす影響の低減及び持続可能な利用に努める。

Endeavor to Reduce Impacts on Biodiversity and to Achieve Sustainable Use

第19条 生物の多様性に配慮した事業活動の促進

Article 19 Promotion of Biodiversity-Friendly Business Activities

国は、生物多様性に配慮した原材料の利用、エコリズム、有機農業その他の**事業活動**における**生物多様性影響を低減する取組を促進**するため、

また、**国民が生物多様性に配慮した物品又は役務を選択**することにより、生物多様性に配慮した事業活動が促進されるよう、**事業活動に係る生物多様性配慮に関する情報公開、生物多様性に配慮した消費生活の重要性についての理解の増進**その他必要な措置の実施



グリーンウェイブ The Green Wave

1 趣旨 Purport

国連が定める国際生物多様性の日（5月22日）を中心に、様々なセクターによる植樹、育樹等を行う Trees are Planted on Int'l Day for Biological Diversity. 以上を通じて、生物多様性に関する認識を促し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する意識の向上と取組を促進。

Promotion of Understanding and Awareness regarding Biodiversity Issues

2 主唱 環境省、農林水産省、国土交通省 生物多様性条約事務局の呼びかけによる

Proponents: Moe, MAFF, MLIT

3 実施事項 Implementation Guidance 植樹、育樹等の活動の計画・実施 及び HP上での実施状況のとりまとめ

Plan, Implementation and Summary of Activities posted on Website for Planting Trees

4 2011年結果 This Year's Result

42都道府県 383団体、約28,000人、植樹約 79,000本
植樹・育樹活動の他、苗木提供等において企業・団体からご協力戴いている。

42 out of 47 Prefectural Governments, 383 Groups, 28,000 Participants and 79,000 Planted Trees



生物多様性民間参画ガイドライン(平成21年8月公表)

Guidelines for Private Sector Engagement in Biodiversity (Released on AUG 2009)

目的 Purpose

- ・事業者が生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組む際の指針や情報を提供 Provision of Policies and Information for Conservation and Sustainable Use of Biodiversity Applicable to Business Entities
- ・企業の環境管理システムを支援 Support of Environment Management System

ガイドラインの構成 Structure of the Guidelines

要約(エグゼクティブ・サマリー) Executive Summary

序論 Introduction

ガイドラインの目的、効果的な使い方等

第 編 現状認識の共有 Sec. I: A Shared Understanding of the Situation

生物多様性や事業活動との関係に関する基礎的情報

第 編 指針 Sec. I: Policies

事業者の取り組みにあたって認識すべき理念・進め方等

参考編:実践のためのヒント References: Implementation Advices

取組の進め方、具体的な取組の事例等



生物多様性の保全・持続可能な利用に積極的に取り組む事業者、NGO、政府機関、自治体等が参画する枠組

Framework for Business Entities, NGOs, Governments, Municipalities which Address Actively Conservation and Sustainable Use of Biodiversity

日本経団連、日本商工会議所、経済同友会が中心となり、環境省も協力してCOP10期間中に設立

Established with Keidanren, JCCI, JACE and MoE at COP10

2011年12月現在の参画機関：483

Participation: 483 (as of DEC 2011)

発足時から50団体以上の増加

一次産業、中小企業を中心に今後も拡大予定

これまでの主な活動 Past Main Activities

HPやニュースレター、メルマガを通じた事業者の取組事例・イベント・参考資料等の情報提供・共有

Information Provision of Best Practices through Site

参画機関の意識・活動実態調査

Consciousness and Activity Survey of Participants

参画機関数の拡大

Expansion of Participants



生物多様性国家戦略の改定

Revise of Nat'l Biodiversity Strategy and Action Plan

生物多様性国家戦略2010 (2010.3.16 閣議決定)

Nat'l Biodiversity Strategy and Action Plan 2010 (Cabinet Approval on MAR 16, 2010)

ポイント Key Point

生物多様性基本法を踏まえた初めての法定戦略
中長期目標(2050年)と短期目標(2020年)の設定
COP10開催を見据えた国際的な取組の推進と国内
施策の充実・強化

First Legal Strategy building upon Basic Act on Biodiversity



COP10の成果を踏まえ、来年10月のCOP11を目指して
新たな国家戦略の検討を開始

Launched New Nat'l Biodiversity Strategy Review toward COP11 building upon COP10 Outcomes

国連生物多様性の10年日本委員会

The Japan Committee for United Nations Decade on Biodiversity

国連生物多様性の10年に対応し、愛知目標の達成に貢献するため、日本の主要なセクターが参画して設立。

セクター間の連携を進め、生物多様性の主流化を重点事項とし、各セクターの後押しからグローバルなネットワークづくりまで、幅広く取り組む。

Formed with Japanese Leading Sectors in accordance with UNDB's Proclamation and Contribution to Achievement of Aichi Targets



2011.9.1.

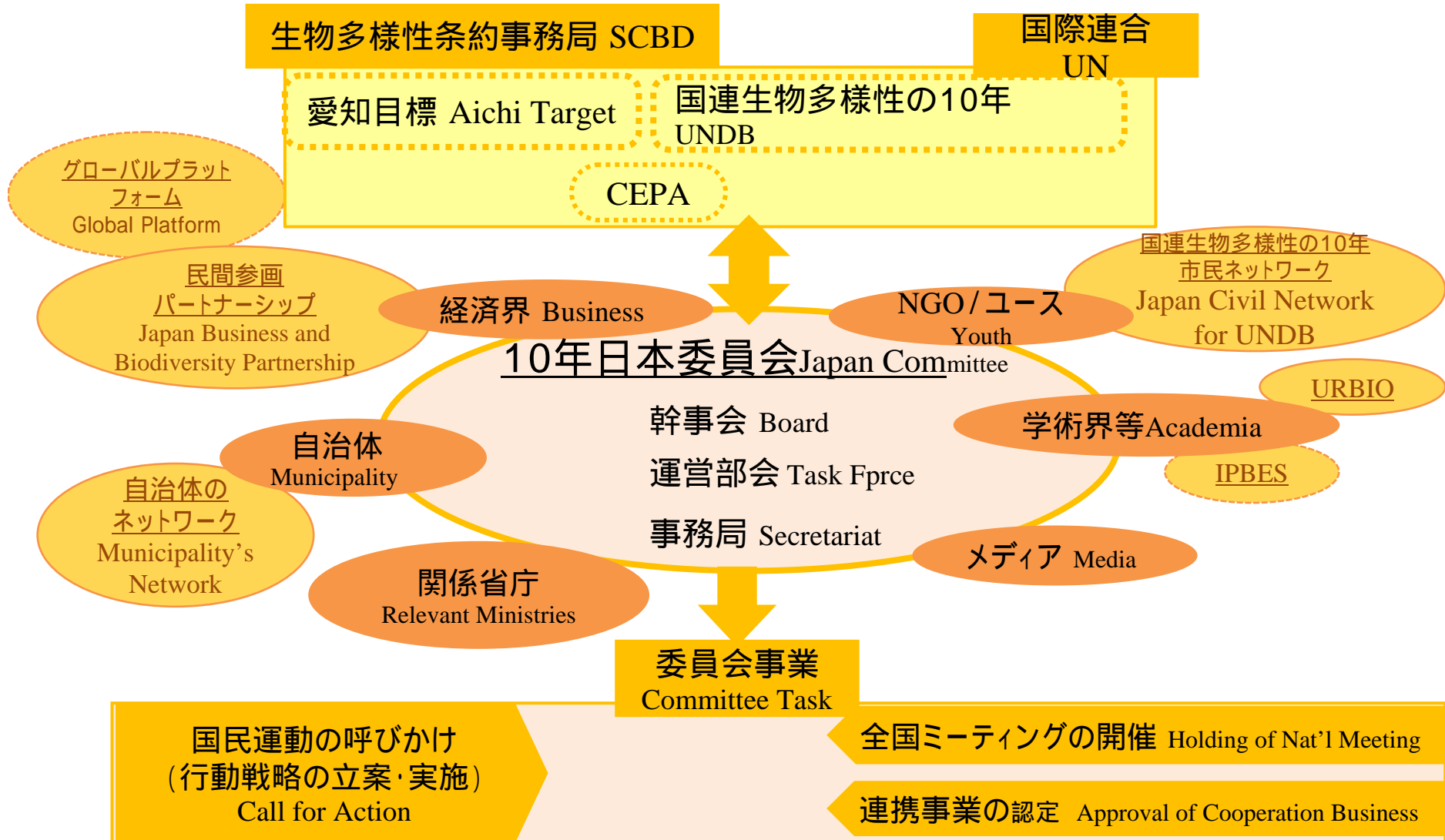
第1回 国連生物多様性の10年日本委員会の開催
委員会の体制と今後の活動について検討
委員長に日本経団連米倉会長が就任

1st Meeting of the Japan Committee for UNDB on SEP 1, 2011

国連生物多様性の10年日本委員会

The Japan Committee for United Nations Decade on Biodiversity

国内の多様なステークホルダーが参画・連携



生物多様性全国ミーティング Nat'l Meeting on Biodiversity

1 目的 Purpose

セクター間連携の推進・強化
生物多様性の地域活動の掘り起こし
生物多様性自治体ネットワークとの連携



2. 第1回生物多様性全国ミーティング

日程：10月29日（土）

1st Meeting of Nat'l Meeting on Biodiversity (OCT 29, 2011)

「国連生物多様性の10年日本委員会」の設立と今後の展開
に

ついて

Organization and Future Development

「国連生物多様性の10年」における各セクターの取組状

況・今後の方針

Each Sector's Efforts and Future Policy

パネルディスカッション「国連生物多様性の10年」に向け
た

地域の取組

Community's Efforts to UNDB

生物多様性自治体ネットワーク

Local Government Network on Biodiversity

1 概要 Summary

地域の生物多様性の保全や持続可能な利用に積極的な全国各地の地方自治体からなる、「生物多様性自治体ネットワーク」を設立。

Established Comprising Local Governments which Address Actively Conservation and Sustainable Use of Biodiversity in Communities.

2 事業内容 Activities

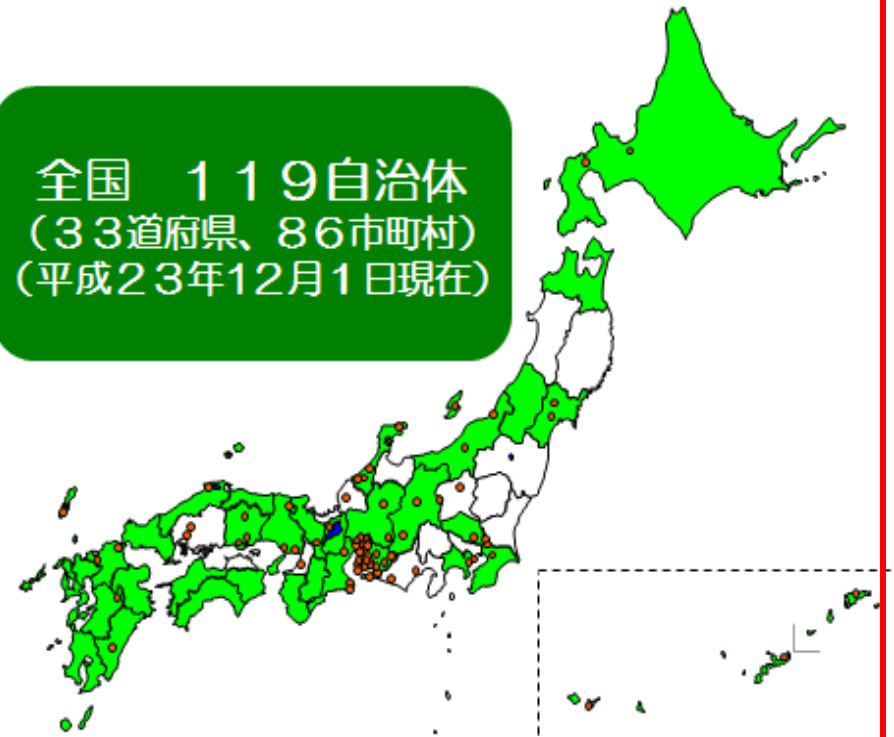
国、民間団体、事業者等他のセクターとの連携及び協働

「国連生物多様性の10年日本委員会」への意見及び要望

生物多様性の保全や持続可能な利用に関する自治体の取組及び成果に関する情報共有と発信

その他、前条に掲げる目的を達成するために必要な事業

全国 119自治体
(33道府県、86市町村)
(平成23年12月1日現在)



119 Municipalities (as of DEC 2011)

ご静聴ありがとうございました！

Thank you very much!

コミュニケーションワード

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性